

取扱説明書

MEGALIT FLAP

お客様へ

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくごらんの上、正しく取付、正しくご使用ください。
●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

yamagiwa

目次

- 1 ページ：照明器具取付（施工）についての安全上のご注意
- 2 ページ：定格表・部品名称と取付方法
- 3 ページ：施工手順
- 4 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 5 ページ：オプション・専用スポットライトについて
- 6 ページ：保守・お手入れ・アフターサービス

ご不明な点がございましたら
販売店にご相談ください。

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警告

	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付は、取付ける壁の強度を確認し、重量に耐えるところに確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。 ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。
	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取付けしないでください。

⚠ 注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となります。
- ◇反射板及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。
落下によるけがの原因となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。
火災の原因となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取付けの際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。
- ◇器具取付の際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。
メッキや塗装等の変色や、さびの原因となります。
- ◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

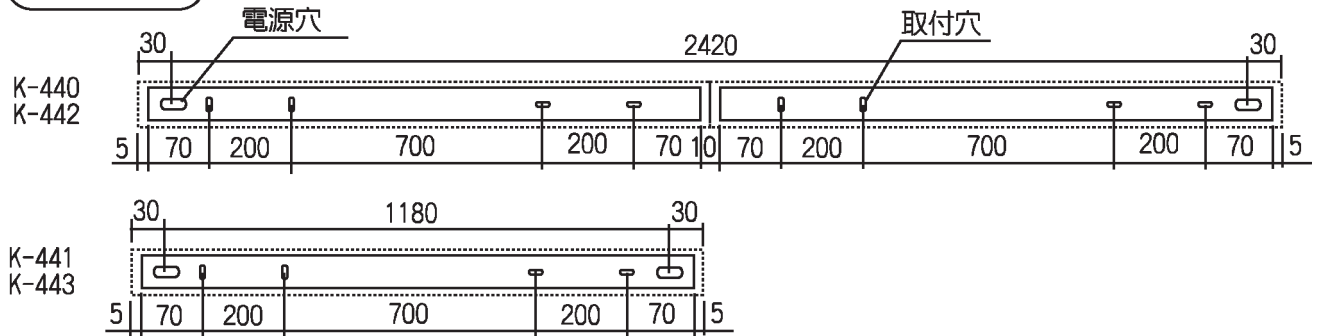
お願い

電気工事店様へ
工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

定格表

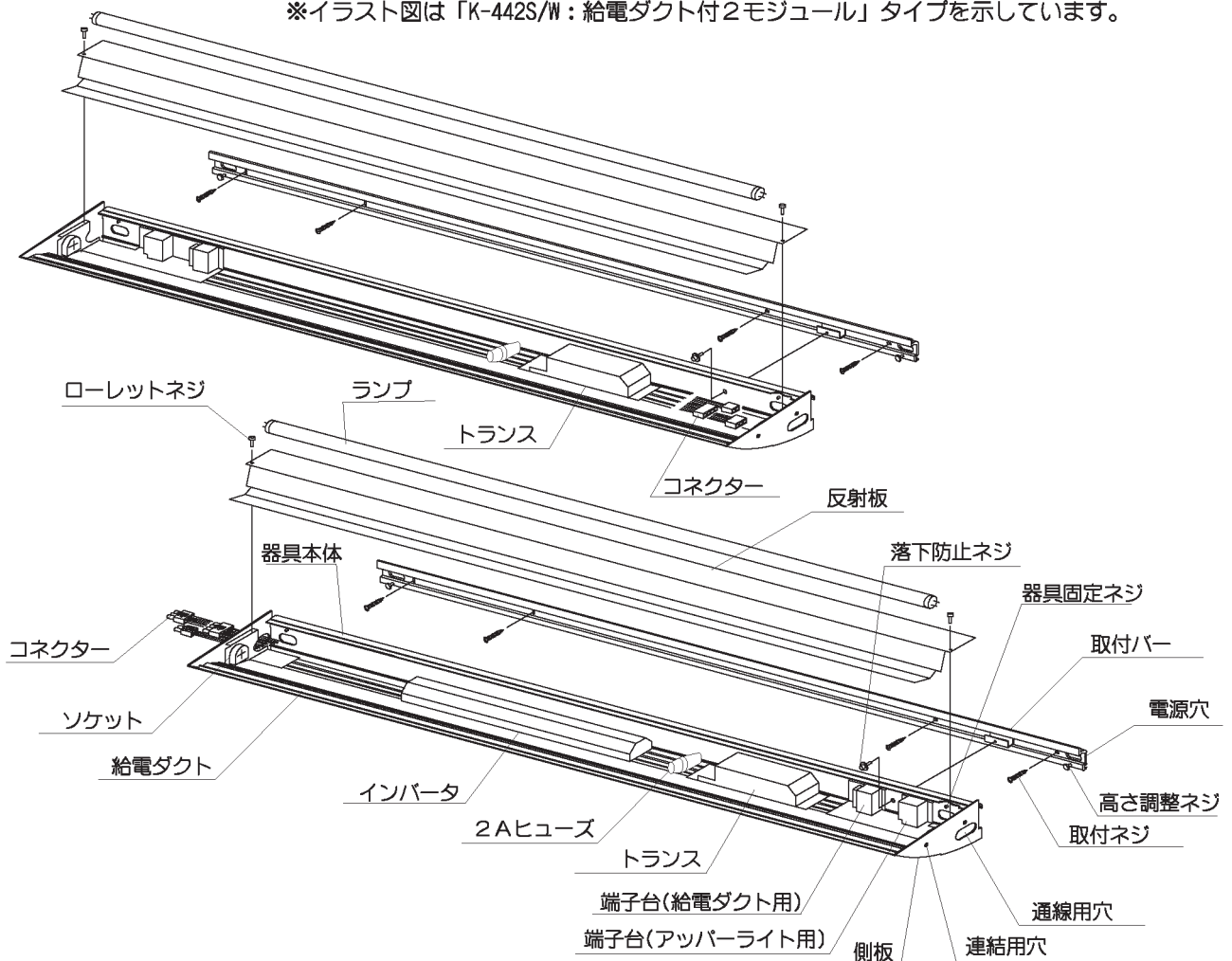
カタログ番号	型番	使用電圧 周波数	F H F 側 入力電流	F H F 側 消費電力	定格適合ランプ	ダクト 出力	仕様	重量
K-440S/W	G7KJ-01Z8-2S/W	100~ 254V 50/60Hz	0.93 ~0.37A	92W	H F 蛍光ランプ F H F 32W×2		2 モジュール	10kg
K-441S/W	G7KJ-01Z8-1S/W		0.48 ~0.19A	47W	H F 蛍光ランプ F H F 32W×1		1 モジュール	5kg
K-442S/W	G7KJ-02Z5-2S/W	F H F 安定器入力 100~254V 50/60Hz ダクト側 入力 100V 50/60Hz	0.93 ~0.37A	92w	H F 蛍光ランプ F H F 32W×2	11.4V 45KHz 100VA	給電ダクト付 2 モジュール 100VA トランス×2 内蔵	11kg
K-443S/W	G7KJ-02Z5-1S/W		0.48 ~0.19A	47W	H F 蛍光ランプ F H F 32W×1		給電ダクト付 1 モジュール 100VA トランス×1 内蔵	5.5kg

取付寸法



部品名称と取付方法

※イラスト図は「K-442S/W：給電ダクト付 2 モジュール」タイプを示しています。



施工手順

【施工のまえに】

- この製品は連結施工をしやすくするため、器具内に送り配線を施してあります。電源送りは隣り合う器具の短い端子間で可能です。
- K-442、K-443はアッパーライト用（100～254V）、給電ダクト用（100Vのみ可）の2回路が必要です。
- 送り容量は、各回路10Aまでです。（10Aを超える電流を送る場合は、営業担当者にご相談ください。）
- 取付部の強度は器具重量に十分耐えるようにしてください。不備がありますと器具落下の原因となります。

①取付バーを取付ける

2ページの取付寸法にしたがい、取付バーを同梱のネジで取付けます。

ただし、壁の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない様な場合には、同じ径の長いネジをご用意の上ご使用ください。不備がありますと器具落下の原因となります。

・電源線は、取付バーの電源穴から出しておきます。

・光漏れ防止として、バーとバーの間には同梱のスポンジを壁に貼って隙間を無くします。（図1）

②器具本体を取付ける

器具本体を取付バーに引っ掛け、落下防止ネジをしめます。落下防止ネジは固定用のネジではありませんので、きつくしめすぎないようにしてください。（図2）

③器具を連結する（2モジュール、または、2製品以上を連結する場合）

隣どうし器具と器具を連結ネジ（同梱）で自由端の六角棒スパナを使って固定します。（図3）

側板と側板に隙間がない状態で固定してください。隙間がある状態のまま強くネジを締めますと、側板がアルミ製の為、変形の原因となります。

④器具どうしの結線する（2モジュール、または、2製品以上を連結する場合）

2灯用（K-440・K-442）の場合はコネクターをつなぎ、隣り合った器具どうしは、アッパーライト用、給電ダクト用、それぞれの端子台間の送り配線をします。（K-440・K-441はアッパーライト用の端子台のみ）（図4）

⑤器具を固定する

器具どうしの連結及び結線作業が完了しましたら、器具固定ネジを同梱の六角棒スパナで全体的に少しずつ締めていきます。このとき、器具の先端をもちあげ、取付バーにぴったり乗せた状態にして締めないと器具の水平レベルがでにくくなりますので注意してください。また、器具の先端が垂れ下がっているような場合は、取付バー下部の高さ調節ネジを緩め、器具本体を持ち上げて調整します。（図5）

⑥壁側の器具と器具の隙間を、同梱の銀色のシールを貼り付けて隠す（図4）

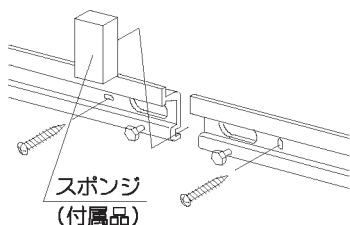
⑦電源線及びアース線を端子台に接続する（図6）

接続が不完全な場合、定格容量を超えた場合、火災・感電・不点灯の原因となります。

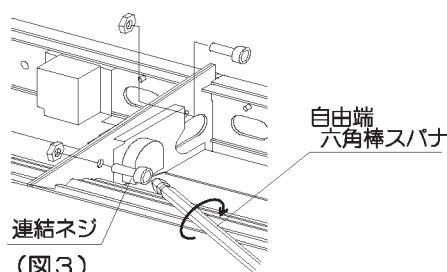
⑧反射板を取付ける

⑨ランプを取付け、点灯確認をする

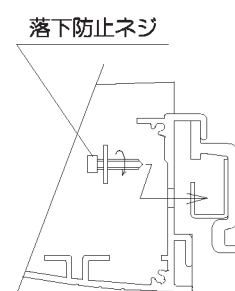
ソケットは回転式です。カチッと音がするまで、90°回転させます。



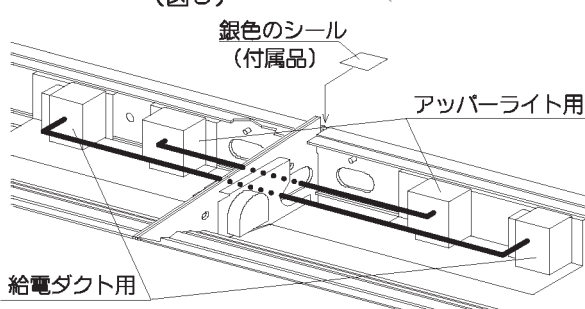
（図1）



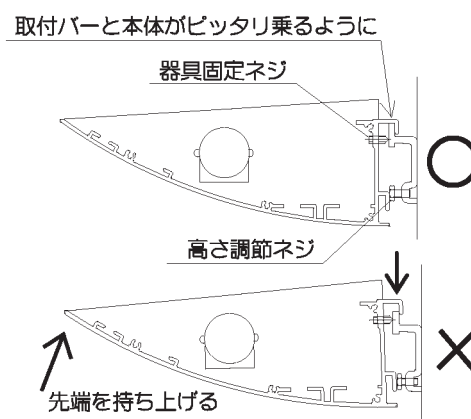
（図3）



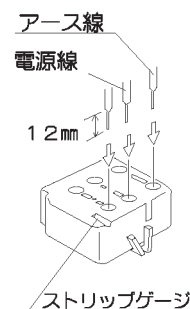
（図2）



（図4）



（図5）



（図6）

電線をストリップゲージに合わせ、被覆をむきいてください。矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

適合電線
φ1.6 φ2.0 単線
送り容量：通常10Aまで

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告

	感電のおそれがあります ◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。 感電・火災のおそれがあります ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。
	感電・火災のおそれがあります ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。
	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。 ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。

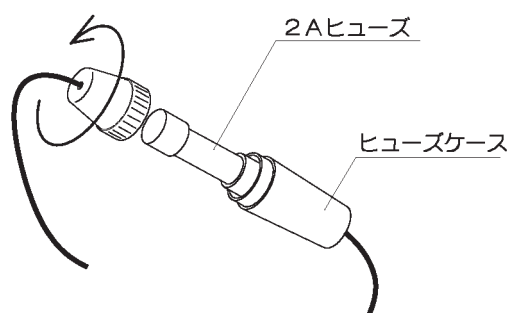
⚠ 注意

- ◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具の落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇スポットライトの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。
 - ・器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。
 - ・プラグ付きの器具は、プラグやコンセント回りのゴミやほこりは、乾いたやわらかい布で、よくふいて取り除いてください。発火・火災の原因となることがあります。
- ◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。器具の変形や火災の原因となることがあります。
- ◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。
- ◇給電ダクト付の器具は、ぬれた布等で給電ダクトを拭かないでください。感電・故障の原因となります。



給電ダクト付器具について

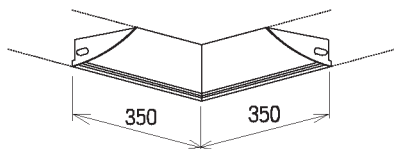
- MEGALIT専用スポットライト以外は取付けしないでください。
T-851 (S・W) T-852 (S・W) T-853 (S・W)
- スポットライトの容量は1モジュール(ダクト1本・1回路)あたり、**合計100Wを超えない**ようにしてください。
- ダクトが短絡(ショート)した場合、器具内部のヒューズが切れます。
復帰方法は、電源を切って、反射板をはずして新しいヒューズと交換してください。
(適合ヒューズは定格2A(6mm管)です。2A以外のヒューズは使用しないでください。)



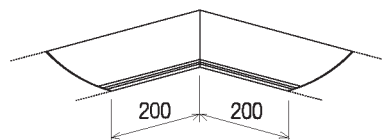
オプション

連結オプション

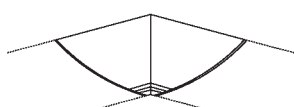
K-444 (S・W) コーナー I N T 90°
(FPL13W×2)



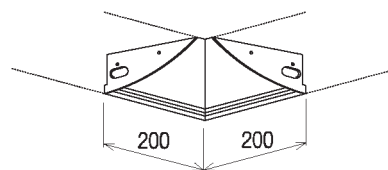
K-445 (S・W) コーナー E X T 90°
(FPL13W×2)



Z-890 (S・W) コーナー E X T 90°
(左右兼用タイプが標準)



Z-891 (S・W) コーナー I N T 90°



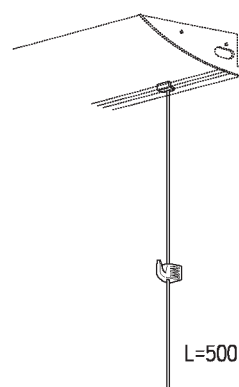
Z-888 (S・W) エンドカバー (左用)



Z-889 (S・W) エンドカバー (右用)

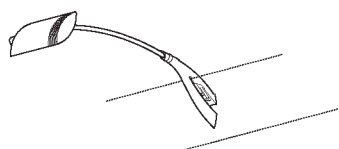


ピクチャーステム
Z-892

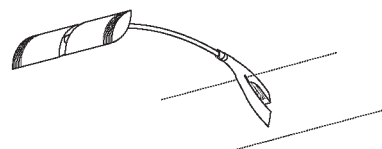


専用スポットライト

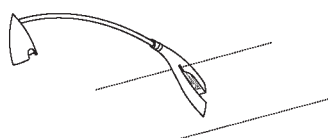
T-851 (S・W) ハロゲンランプ 12V50W×1



T-852 (S・W) ハロゲンランプ 12V50W×2



T-853 (S・W) Φ35° ｲｸｲｯｸﾐﾗｰﾗﾝﾌﾟ 12V35W×1



***注意**
専用配線ダクトの1モジュール
(1回路)の容量は、100W
です。
合計で100Wを超える「専用
スポットライト」を接続しない
でください。

保守とお手入れ



注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

●ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。

- ・スイッチが入っているか?
- ・ランプが切れていないか?
- ・ランプがソケットに確実にハマっているか?

●低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足(光束不足)を生じることがありますが、故障ではありません。

時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。



●ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。早めにお取り替えください。

お願い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。

◇ガラス・陶磁器類は、こわれやすい材料です。お取扱の際には、両手で静かに行ってください。

◇ぬれた手で器具に触らないでください。



愛情点検

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ リビナ本館	〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5111 (代表)
ダ・ドリアア 青山	〒107-0062 東京都港区南青山3丁目16番3号 TEL (03) 5770-1511 (代表)
東京営業部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地 TEL (03) 3253-5143 (代表) 龍名館本店ビル10階
外商営業本部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地 TEL (03) 3253-5150 (代表) 龍名館本店ビル10階
札幌営業所	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西1丁目10番地 TEL (011) 221-1321 (代表) ビア2・1ビル6階
仙台営業所	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目13番22号 TEL (022) 227-1251 (代表) 仙台松村ビル3階
横浜営業所	〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町1丁目1番14号 TEL (045) 664-2871 (代表) 関内駅前エスビル8階
ヤマギワ 名古屋店	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号 TEL (052) 931-2111 (代表)
名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号 TEL (052) 931-3223 (代表)
金沢営業所	〒920-0864 石川県金沢市高岡町3番20号 安田生命ビル6階 TEL (076) 222-6733 (代表)

ヤマギワ 大阪照明館 近畿営業部	〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3丁目6番1号 TEL (06) 6258-6561 (代表) 鴻池ビル1階
高松営業所	〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町3丁目6番6号 TEL (06) 6258-6721 (代表) 御堂筋センタービル2階
広島営業所	〒760-0062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号 TEL (0878) 39-3195 (代表) クリエイトビル302
福岡営業所	〒730-0032 広島県広島市中区立町2番25号 TEL (082) 249-5255 (代表) 広島ロプロビル9階
千葉出張所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号 TEL (092) 721-5661 (代表) 福岡ロプロビル7階
宇都宮出張所	〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目10番8号 TEL (043) 225-0061 コーケンボイス902
高崎出張所	〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉4丁目18番19号 TEL (028) 638-1002 ワタナベハイツ101
新潟出張所	〒370-0071 群馬県高崎市小八木町2008番5 TEL (0273) 62-6920 三恵レジデンス107
静岡出張所	〒950-0912 新潟県新潟市南區口1丁目1番2号 TEL (025) 247-7243 新潟南ハイツ104
	〒420-0072 静岡県静岡市二番町7番6号 TEL (054) 273-5305 ローズガーデン406

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。